

# なごみだより

平成24年10月8日発行第12号  
犯罪被害者自助グループ「なごみ」の会  
問い合わせ先 とっとり被害者支援センター  
TEL 0857-20-0330  
鳥取県庁くらしの安心推進課  
TEL 0857-26-7183

## 全国犯罪被害者支援フォーラム 2012に参加して

当県からは、落合理事長、中村事務局長をはじめとして関係者8名が上京して、このフォーラムに参加して来ました。今年のテーマは“子どもの犯罪被害とその支援”というテーマで、全国から4人のパネリストがそれぞれの立場で参加発言されました。2人は親を亡くされた子としての立場、もう2人は子を亡くされた親の立場からです。事件・事故の直後から、そのショックで判断能力、思考力も失せた中で、刑事司法や地域社会からの二次被害もさらに加わり、生きる為、苦しみにもがき続けた経験、それからこれらをのり越えて今度は新しい被害者の為に支援者として活動されていることなどが、それぞれ発表があり、感銘を受けました。

2日目は分科会で、それぞれが研修を受けたい希望を事前に出してある会場に行きます。私は“少年事件と少年法”を選びました。最近特に少年による残虐な事件や事故が多いが、その加害者である少年達は、少なくとも成人の加害者よりは法により処罰が軽くなっているという現実があります。被害者のほうは成人か少年かに関わらず、生命を奪われたという厳然たる事実があり、少年だったら立ち直るだろうとか、家庭環境に問題があったとか言われ、とにかく保護されるようになっているのです。

このような中で、被害者サイドは置きざりにされ、無視されて来ました。ここに被害者は、いたたまれずに声をあげ支援を求めたのが被害者支援の始まりと言われています。

私の場合もまだ当県に被害者支援センターがなく、どこにも相談する事ができず、当時大変困難を極めたことを覚えています。全国の被害者がひとつになり、声をあげ始めたので、司法の世界にもやっと風穴があき、裁判員制度ができ被害者サイドにも弁護士をつけることも可能になりました。ここに至る迄の産みの苦しみは、想像を絶する苦労があったと聞きます。そして、全国の各都道府県にそれぞれ被害者支援センターが設立されました。必要とされて設立された被害者支援センターだから、大いに活用したり、相談にのってもらったりして、苦しい環境から脱却するために仲間と会い、話をする事も無駄ではないと信じています。

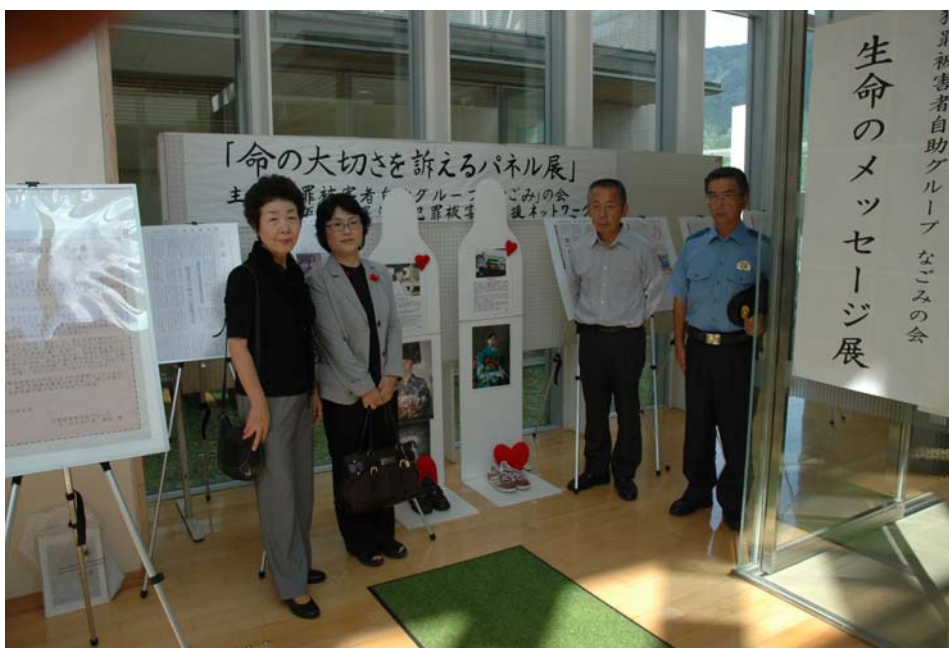
なごみの会 会員 徳田さよ子

## 鳥取大学女子学生 智頭トンネルの事故で

9月26日に、福岡県の大庭さんと島根県の江角由利子さんが、13年前の暮れに起きた事故で、当時鳥取大学に在学中の女子学生3人が即死という痛ましい現場を訪れました。2社の新聞記者が取材をして下さいました。我々も当県の自助グループとして案内、同行させてもらい、話もいろいろ聞かせていただきました。事故当時救急車で運ばれた智頭病院は、現在は町内の複合施設として病院を核とした新たな建物になっていますが、ここのロビーに大庭さん、江角さんたちのオブジェとなごみの会のパネルを展示し、多くの町民の方々に見ていただけました。智頭署管内の関係者に御礼申し上げます。



智頭トンネルの事故現場にて



智頭病院ロビーにて

---

## 9月定例なごみの会

9月15日(土)島根県立美術館で山陰両県の犯罪被害者が出会い、ランチをとりながらミーティングがもたれました。食事の始まる頃には宍道湖も遊覧船も景色の中に見えていたのですが、10分もすると雨が本降りとなり、その後は雷鳴、稲妻で外に出られないような天候になってしまいました。話し合いが終わり、館内の美術品を鑑賞してロビーに戻った頃、雨も小止みになりました。年に1回か2回は、このように他県との交流のなかでなごみの会をしたいという希望がありますので、なるべくご都合をつけてお出かけ下さい。

---



## 今後の活動予定



- 10月20日(土) なごみの会  
場所：まなびタウンとうはく  
時間：13時から15時まで
- 11月 2日(金) 鳥取県犯罪被害者フォーラム  
場所：とりぎん文化会館  
時間：13時30分から16時30分まで  
講演：佐藤咲子様(埼玉県在住)